

奈良県中学校陸上競技部における、競技会開催時の新型コロナウイルス対策

① 3密の回避(密閉・密集・密接)

- ・ソーシャルディスタンス確保の工夫(役員室や選手待機場所などのレイアウト変更を検討する)。
- ・室内の換気(常に扉・窓を開放しておく)。
- ・時差による集合・解散(各自の競技開始2時間前をめどに、保護者の送迎を基本に、会場に集合する。また、自分の競技が終了したら、クーリングダウンや記録の確認、顧問からの指示を受けるなど必要最低限のこのみを行えば速やかに帰宅する。)をお願いする。

② 参加者のスクリーニング(検温・体調不良者の参加拒否)

- ・家を出る際に、必ず検温と体調の確認をし、所定の用紙に記入し(競技会参加承諾書)、異常がなければ会場へ移動する。
- ・持参した競技会参加承諾書を、顧問を通して大会本部に提出する。本部は、その資料を厳重に保管する(少なくとも、大会終了2週間後まで)。また、非接触型の体温計など、検温ができる用具の準備も行う。本部は、必要に応じて選手の検温が行えることを、プログラムや要項などに明記する。
※競技会終了後、2週間以内に感染が確認された場合は、必ず中体連陸上競技部長に報告をすること。

③ マスク着用の徹底

- ・運動時を除きマスクの着用を義務づけることを要項(プログラム)に明記し、競技会中のアナウンスを通して着用励行を求める。選手も競技役員も徹底。

④ 手洗い・手指消毒・洗顔の徹底

- ・手洗い場にせっけんやハンドソープを、また、役員室出入り口、競技場所など、複数の場所にアルコール消毒液・手洗い石けんを設置する。選手も競技役員も、競技の前後には必ず消毒を行う。そのような内容を、現地の競技役員から、かつ、アナウンスを通して選手に強く訴える。また、各学校でも事前に指導の徹底をお願いする。

⑤ 室内清掃・消毒の励行

- ・多くの人を使用する場所の清掃、消毒をおこなう。
- ・どのような薬品を用い、どの範囲を、どれくらいの頻度で行うのか、用器具の消毒の実施の有無などは、日本陸連からの指示や当施設と打ち合わせを行った上で立案・決定する。

⑥ 観客対応

- ・無観客とする。ただし、引率業務に伴い待機を必要(目的)とする来場者は観客としてみなさず、必要な事前の届出や健康に問題がないことを条件に、一定時間、定められた場所での待機を認める。(具体的な場所等の指示は参加各校にメールで行うが、出場者の3密回避を最優先するため、競技場内で待機することができない場合がある。)
- ・当日は、他のスポーツイベントと重なり駐車スペースがなくなることが予想されるため、有料駐車場等のご利用をお勧めする。
- ・出場者が3密を避けて待機できる場所の確保を最優先する。
- ・集団応援禁止(観戦も、各自でソーシャルディスタンスを守って行う)。
- ・ソーシャルディスタンス確保の励行。
- ・その他感染防止対策のアナウンスを随時実施。

【その他】

- ・競技はすべて、現地コールで行う(招集所は設けない)。コール(招集)時間も、できるだけ細分化し、短時間にする。また、招集時・競技中の選手間の距離を、2m確保するように努める。
- ・ウォーミングアップは個別に行う。
- ・競技用具使用後の手洗い(選手も競技役員も)に努める。

- ・更衣室の滞在は短時間とする(競技終了後の着替えなどのみ)。
- ・役員は、極力競技者と接触を避ける工夫をする。
- ・基本的に、競技者への付き添いは禁止。しかし、やむを得ず競技者に付き添う場合の接触、間合い、会話に注意する。
- ・3密の回避として、ゆとりある選手待機場所の確保、招集時刻の分散化(細分化)、手続きの簡略化(滞在時間の短縮)を行う。
- ・記録発表の工夫: 掲示板の前に人だかりができないように掲示場所や掲示時間の分散化を図る。
- ・フィニッシュ後に倒れこんだ競技者のケアは、防護体制を整えたスタッフ(医務係や看護師)で対応する。競技会ごとに、看護師の派遣を要請し、配置する。
- ・参加人数が多ければ人数を制限するか、組数を増やして密集を回避することを徹底する。
- ・投てき器具やすべり止めの共用禁止は非現実的である。終了後のうがい・手洗い・洗顔を実施させることと、競技中に不用意に手で顔を触らぬように注意をすることで対応する。また跳躍種目の着地マットについても同様に、競技終了後速やかに更衣をするように指示する。また、競技会すべての参加者に対して帰宅後速やかに入浴して体を洗うよう各校顧問から促す。
- ・各個人で必要と思われるもの(フェイスシールド、又はゴーグル、手袋、マスクなど)を用意していただく。
- ・隔離室を確保する。
- ・65歳以上の方には、できるだけ競技役員の委嘱をしない。
- ・新型コロナウイルス感染症が重症化しやすい基礎疾患(糖尿病、心不全、呼吸器疾患、高血圧、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方、)を持っている競技役員は辞退できることを周知し、対応する。各学校でご確認ください。
- ・競技役員・補助役員の手旗、パソコン、計測器などの共用は、共用後に必ず手洗いをする。
- ・ゴミをゴミ箱には捨てずに、必ず各自で処理して持ち帰ることを周知し、徹底する。

※以上を原案とします。今後の情勢の変化により、内容を変更することもあります。その際は、改めて連絡させていただきます。